

東日本国際大学・いわき短期大学 「つどいのひろば」を実施



↑夢中で遊ぶ子ども達と大学生達

2月10日、広野町保健センターにおいて東日本国際大学・いわき短期大学による「つどいのひろば」が広野町との連携協定に基づき開催されました。

これは、同日同時帯に開催された「第8回放射線と健康に関する講演会」の託児所として実施されたもので、東日本国際大学・いわき短期大学の先生や保育士を目指す大学生ら9人がボールプールや持ち込んだ様々な遊び道具を使い、子どもたちと触れあいました。

母心コンビ結成10周年 お笑いライブが開催



↑母心の漫才ライブに笑いが溢れる会場

1月20日、お笑いコンビ「母心」の結成10周年となる福島感謝お笑いライブが広野町公民館で開催され、ご当地漫才や歌舞伎漫才などで会場が大きな笑いに包まれました。

このお笑いライブツアーは、「母心」が福島市飯坂町で結成されてから10周年を記念するとともに、福島県内59市町村全てを回って感謝の気持ちをお笑いで届けようと企画されたものです。

当日は約90人の観客が詰めかけ、「母心」の息の合ったテンポ良い漫才が披露されました。

早稲田大学「ふくしま広野未来創造 リサーチセンター」で学会を初開催



↑学会の様子

1月28日、広野町二ツ沼総合公園内のパークギャラリーに設置されている早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターは、同所で初となる学会「ふくしま学（楽）会」を開催しました。

学会は「ふくしまから伝えたいこと、知らなければいけないこと。」をテーマとし、早稲田大学、東京大学、京都大学、国、県、行政機関、NPO団体、ふたば未来学園高校生徒らが参加し、それぞれの立場から様々な視点での交流促進や情報発信、課題解決に向けた取り組みなどについて話し合われました。

(株)ベルテクノプラント工業と 連携協力基本協定を締結



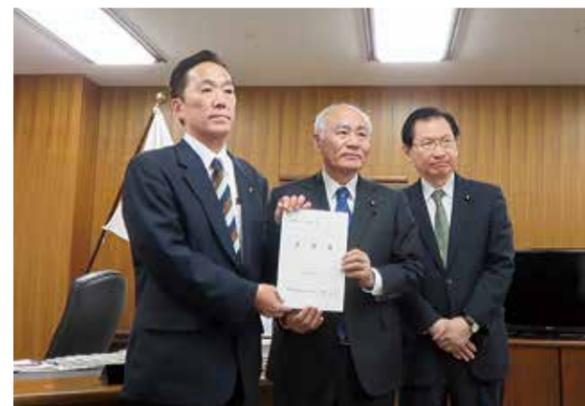
↑連携協力基本協定締結の様子

2月14日、広野町と(株)ベルテクノプラント工業は、広野工業団地内に同社が進出することを通じた地域活性化などを目的とした連携協力基本協定を締結しました。

協定締結式では、(株)ベルテクノプラント工業の鈴木洋代表取締役社長と遠藤町長がそれぞれ協定書にサインをしました。

(株)ベルテクノプラント工業は、主にステンレス製の水槽を製造しており、コンクリート製やFRP製の水槽と比べ丈夫で衛生的であり、需要が高まっていることから広野工業団地内に新工場を建設することとなったものです。

吉野正芳復興大臣へ要望書を提出



↑吉野復興大臣（写真中央）に要望書を提出する遠藤町長（写真左）

12月6日、復興庁本庁を訪問し、吉野正芳復興大臣に要望書を提出しました。要望事項として、保険料（税）および一部負担金の免除、高速道路無料措置の継続、医療・福祉体制の充実、企業誘致、高等教育機関との連携に対する支援、農業次世代人材育成と風評払拭、復興推進体制の維持など、町民の皆さまの生活再建や町の復興に向けた国の積極的な支援を強く求めました。

自由民主党福島県支部連合会 移動政調会で要望



↑要望書提出の様子

2月7日、自由民主党福島県支部連合会の太田光秋県議会議員、渡辺義信県議会議員、西山尚利県議会議員、高宮光敏県議会議員、佐藤義憲県議会議員、坂本竜太郎県議会議員が移動政調会で広野町役場を訪れ、遠藤町長や黒田議会議長らと意見を交換し、遠藤町長と黒田議会議長の連名で太田県議会議員にイノベーション・コースト構想の推進などの要望書を手渡しました。

「第8回放射線と健康に関する講演会」 を実施



↑生活習慣の見直しを促す熊谷先生

2月10日、広野町保健センターで「第8回放射線と健康に関する講演会」を開催しました。講師は福島県立医科大学災害医療総合学習センター副センター長で広野町放射線健康管理アドバイザーの熊谷敦史先生で、これまでの広野町内の放射線量や町民の被ばく量について丁寧な説明がありました。また、放射線の健康に対する影響を解説していただくとともに、生活習慣での健康リスクについても福島県のデータを基に説明があり、食生活や日頃の運動に留意するようお話しをいただきました。

伊東温泉めちやくちゃ市に出店



↑あんこ餅を堪能する来場者

1月27日から28日、静岡県伊東市で開催された「第24回伊東温泉めちやくちゃ市」に広野町ブースを出店しました。広野産の米や野菜、昨年からの販売を開始した広野産みかんを使用したストレートみかんジュースを販売しました。

期間中、広野町のブースには、伊東市の小野市長をはじめ、市議会議員の皆さん、ひろの童謡まつりへの出演で交流のある合唱団シャンテの皆さんが訪れ、来場者に広野町の物産品をPRしてくれました。

27日には遠藤町長がオープニングセレモニーで挨拶し、伊東市民の方々にこれまでの支援に対し感謝の言葉を述べました。また、広野産もち米を使った餅1,400人分を来場者に振る舞いました。